

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

衆議院議員・小児科医 No.590

あべともこニュース

3

2021年、命と環境を守る

◆拡大する感染には検査と隔離を

昨年、新型コロナウイルスの死者数累計はついに3千人を超えました。今年は、命を守る年にしなければなりません。

最初の千人は半年、次の千人は4カ月、次はわずか1カ月。この加速を止めるには、感染症対策の基本である早期の検査と隔離、診断、治療、そして、集団感染予防のための予防的検査の拡充が必要です。既に感染は市中に広がり、医療・介護従事者だけでなく、ゴミ収集や交通労働者からも感染者が出ています。

もちろん、隔離した宿泊療養のケア向上と迅速な対応も待ったなしです。宿泊療養における急速な重症化や死亡はなんととしても避けなければなりません。

状況は刻々と変化し、感染経路の4割は「家庭内」になっています(下図)。入院や宿泊療養を待つ自宅待機者を無くさなければなりません。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区 (藤沢市・寒川町)
当選 7 回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこどもクリニック (湘南台) 理事長
現在、内閣委員会・原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ 検索

あべともこと共に歩む会後援会
入会のご案内及びボランティア
スタッフ募集中!



感染経路 (11月~12月17日まで)



出典: NHK ウェブサイト

◆予備費を地域医療への支援にも

政府は昨年12月25日に、更なる病床確保のための緊急支援として、予備費2700億円の拠出を閣議決定し決定しました。しかし、支援

が必要なのは、今や新型コロナウイルス患者を受け入れる病院に留まりません。これ迄の様に減収補填なしでは、潰れる病院が出て、地域医療が破たんします。21年も声を上げ続けます。

◆2050年に再エネ100%を!

菅義偉首相が「2050年カーボンニュートラル」との目標を掲げました。経産省は、作秋から「エネルギー基本計画」の見直しを開始しましたが、首相肝いりの政策を都合よく解釈し、原発を死守、石炭火力の新增設すら続ける姿勢です。

しかし、原発ゼロで再生可能エネルギーの拡大を図る事は十分可能です。自社が使う電力は100%再エネでなければ、サプライチェーンから外されてしまうと、日本を拠点に構えるグローバル企業が政府に訴える時代です。風力発電の製造シェアは中国が世界1、一方、日本には風力発電メーカーが1社もなくなりました。脱石炭! 脱原発! 再エネ100%を目指して、雇用も産業も守れる時代へ向かって阿部知子は走ります。

衆議院議員 あべともこ事務所 〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 1-13-13-1 F

TEL 0466-52-2680 FAX 0466-52-2681 E-mail: inochi@shonanfujisawa.com

立憲民主党神奈川県総支部連合会 〒231-0012 横浜市中区相生町 4-69-2 F TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378